

令和3年度 広報・出版・web 開催小委員会 議事録

日時： 令和4年1月18日（火）17時00分～18時30分

場所： Zoom

出席者： 川崎（顧問），荒木，安田，北野，山城，鈴木，中村，渡辺，井手，比嘉
（敬称略，順不同）

議事

1. メンバー

- ・ 論文集編集小委員会副小委員長の下園先生に，本小委員会に加わって頂くことを確認した。

2. ホームページの状況およびサーバの管理

- ・ 2021年9月末頃以降，外部から攻撃をかけられており，webの表示速度が遅くなっている。現在，数日おきにサーバを再起動して対処している（当初は毎日，再起動していた）。海岸工学委員会の予算を用いて，2月中旬頃までに攻撃元のアドレスをはじく対応を取る予定。
- ・ 利用環境によっては，サーバ証明書に関する警告が出る。これについても海岸工学委員会の予算を用いて，2月を目途に対処していく。
- ・ 本小委員会でのサーバ管理担当について議論した。今後，幹事長・北野先生とも相談して担当者を決める。

3. 役割分担の確認（（矢印後の）下線が新担当。矢印なしは昨年度から継続）

web 全般（荒木）

海岸工学論文集データベース管理（安田・中村）

サーバ管理（中村）

cecom 管理（山城）

英語 HP（Bricker）

土木学会国際センター情報グループ関連（安田：副小委員長担当）

水工学に関する夏期研修会に関する HP 更新（北野 → 荒木・下園）

「広報・出版小委員会」に関する HP 更新（全員）

「論文集編集小委員会」に関する HP 更新（山城・鈴木 → 下園・鈴木）

「Coastal Engineering Journal 編集小委員会」に関する HP 更新（田島・鈴木）

「沿岸域研究連携推進小委員会」に関する HP 更新（川崎）

「沿岸まちづくりにおける経済学的手法検討小委員会」に関する HP 更新（安田）

「波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会」に関する HP 更新（荒木）

「沿岸域における気候変動適応策に関する研究会」に関する HP 更新（安田）

「波動モデル研究会」に関する HP 更新（川崎）

「地域研究活性化 WG」に関する HP 更新（荒木）

4. 海岸工学にまつわる本の紹介コラム

第 21 回までが web に掲載済み.

第 19 回 北野

第 20 回 北野

第 21 回 北野

第 22 回 中村

第 23 回 Bricker

第 24 回 鈴木

第 25 回 安田

第 26 回 山城

第 27 回 渡辺

第 28 回 田島

第 29 回 井出

第 30 回 比嘉

※ 上記の順番を飛ばして本を紹介する場合は、事前に小委員会メンバー全員に問題がないかを確認すること

5. 来年度の海岸工学講演会の運営・担当

- ・ 2022 年 11 月 8 日（火）～11 月 11 日（金）
- ・ 横須賀市 ヴェルクよこすか（横須賀市立勤労福祉会館）
- ・ 11 月 8 日（火）はオンラインのみ、9 日（水）～11 日（金）はハイブリッド、Youtube 配信を行う。
- ・ 広報・出版・web 開催小委員会は 8 日（火）のオンライン開催を担当し、9 日（水）～11 日（金）のハイブリッド開催のオンライン部分についても担当する方向で、現地実行委員会（鳴原先生）と打合せを行う。
- ・ 荒木がオンライン開催（ハイブリッドのオンライン部分を含む）の全体スケジュールの管理を行うこととし、オンライン開催準備のスケジュールを作成する。
- ・ 4 月 12 日の幹事会において開催計画を示す必要があるため、現地実行委員会とともに準備を進める。

6. 災害データベース等の展開について

- ・引き続きコンテンツの充実に努める.
- ・2019年台風15号 Faxai, 台風19号 Hagibis による災害についても, 掲載準備を進める.

7. 新たな web コンテンツ

以下のコンテンツについて, 引き続き検討していく.

- ・ポータル機能の検討
- ・海岸工学の魅力

8. その他

- ・海岸工学委員会 HP 上に, 広告を出して頂いている企業のロゴを表示することについては, 幹事長の北野先生から土木学会 林さんに相談し, 検討を続けることになった.
- ・海岸工学委員会 HP 上に掲載する講演プログラムにも企業の広告を表示する (=DVD ケースに封入されている講演プログラムと同じものを HP 上に掲載する) ことについても, 幹事長の北野先生から土木学会 林さんに相談し, 検討を続けることになった.
- ・DVD 内に収録する業界案内, および講演プログラム紙面上の広告等に関する民間企業間の情報集約を行うことについては, 海岸工学講演会を含む多くの活動が対面で実施されるようになり次第, 川崎顧問を中心として進めていく.
- ・日本の海岸と港湾の写真集の出版を, 引き続き検討していく.

以上